

平成26年度活動計画

1、卒業生データの整備と管理

- ・大学と共同管理している卒業生データの整備をはかります。
- ・校友会に提出する卒業生データの整備方法について検討を行います。

2、支部活動の活性化の促進

- ・県支部代表者研修会を開催します。
- ・各県支部総会、研修会、新年会等へ講師を派遣します。
- ・支部運営費を支出します。
- ・県支部活動開始のきっかけとするため本部からの支援を積極的に行います。

3、会報「あいたで」の発行

藍蓼会と会員を結ぶ重要な役割である会報「あいたで」を年2回発行し、会員約3万1千名に発送します。

内容は大学の現況、恩師や卒業生の動向を掲載し引き続き内容の充実をはかります。

4、ホームページの管理と更新

会報「あいたで」とともに藍蓼会と会員の連携をよりいっそう充実させ、内容の管理と定期的更新に努めます。

5、財政基盤の確立

- ・準会員の入会促進をはかります。
入学時に未加入の在学生に入会のお願いを発送し、入会を促します。
- ・正会員の終身会費未納者に納入を促します。
納入方法を検討し、実施します。

6、本部主催事業の開催

- ・ご退職なさる教職員を囲む会の開催

永年、文教大学に奉職され、平成27年3月をもってご退職なさる教職員6名の皆様をお招きし、平成27年1月24日（土）、ホテルニューオータニ「シリウスの間」で開催します。

- ・ホームカミングデーの開催

平成26年10月11日（土）、大学との共催により越谷校舎で開催します。

- ・「石田 恒好学園長による教育講演会」の開催

平成26年8月30日（土）、文教大学学園、父母と教職員の会との共催により島根県で開催します。

7、会員相互の交流の促進

- ・会員同士の親睦や研修活動を援助します。

会員が研修活動（会員が中心になっている研修会）や親睦会（クラス会・クラブOB、OG会）を行う場合に援助します。

- ・学園祭に参加します。

8、準会員の学生活動・生活の援助

- ・学生活動への援助

学生活動一般援助

クラブ活動や行事（学園祭など）に援助します。

学生活動特別援助

全国大会に出場するクラブ等に援助します。

- ・学生生活への援助

突発的な事由によって大学生活を維持することが困難な学生（準会員）に援助します。

9、文教大学学園校友会について

- ・校友会の公認団体として校友会と連携し、協力します。